

# 至誠通天

藤井 勇治



※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること

**感動の立志式**  
三月弥生、春のよい季節を迎えました。日本では、古来数え年15歳を迎えると元服し、大人の仲間入りをしたさうです。現代に置き換えると中学2年生の皆さんがそれにあたります。

現在市内の中学2年生は1,068人、大人と子どもの境目にある彼らは今、将来に向け大きな夢を持ち、希望に満ちあふれ、一方で思い悩み、時には家族や先生、友達と些細なことで衝突する多感な時期を過ごしていることでしょう。その彼らをサポートするため、市内の中学校では、日々工夫を凝らした授業を行っています。その一つに立志式があり、私は東中



▲木之本中学校立志式



▲東中学校立志式

学校と木之本中学校の立志式に出席させていただきました。

立志式は、両校とも大変厳かな雰囲気で行われ、中学2年生が、同級生や先生、保護者や来賓の人々の前で、緊張しながらも、自分の将来を見据え、大きな声で自信をもって目標を発表していました。私は、生徒一人ひとりが、自分の姿を冷静に分析し、将来の夢に向かって、何をすべきかを語る姿に感動し、また大変頼もしく感じて、自然と笑顔がこみあげてきました。

中学生の皆さん、一生に一度しかない中学生生活、そのかけがえのない時間をどうか悔いのないように全力で過ごしてください。今の一秒、一步の頑張りが必ずこれからの人生に輝きを与えてくれます。そして、つらい事があつたとしても、決してやけをおこしたりせず、ご家族や先生、地域の皆さんを頼ってください。きっとあなたの力強い味方になってくれるはずですよ。  
市も全力で応援します。長浜の中学生頑張れ！

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

市立病院通信(107)

## お元気ですか



長浜市立湖北病院 副院長・小児科部長 東野 克己

### 子どもが風邪をひいたとき

子どもが風邪をひいたとき、保護者は「市販の」咳止め薬や風邪薬を使わずに治療することを検討すべきだと専門家が警鐘を鳴らしています。処方なしに入手できる市販薬は、風邪薬や咳止め薬であっても、乳幼児に重篤な副作用を引き起こすおそれがあるからです。アメリカ食品衛生局(FDA)は、2歳未満の小児に市販の咳止め薬や風邪薬を与えないよう警告しており、日本の厚生労働省からも同様の「市販の」風邪薬の投与を禁止するよう通達が出ています。

子どもの風邪薬は、症状を改善するものでもなければ、風邪を治す薬でもないのです。風邪はウイルスで起こるもので、自然に治癒します。風邪薬を服用したからといって、早く治ったり、症状が改善したりするとは限りません。場合によっては、風邪症状が長引いたり、悪化したりすることもあるのです。

【6歳以下の子どもに風邪薬を与える場合】  
○2歳までの子どもには、風邪薬

や咳止め・鼻水止めは与えてはいけません。  
○2歳以上6歳以下の子どもにも原則として「市販の」風邪薬は与えない。  
【6歳以上の子どもに風邪薬を与える場合】  
○大人用の薬を子どもには与えない。

○薬にはいろいろな濃度のものがある。正しい薬、正しい用量かどうか自信がないときは、医師、看護師、薬剤師などに聞くこと。  
○薬を与えすぎると、重症の副作用につながる可能性がある。  
○咳止めや風邪薬は、風邪そのものを治すものではなくて、単に症状を抑えるだけのもので、その効果もはっきりしていない。  
○子どもはほとんどの場合、時間の経過とともに症状が改善することを理解する。  
○もし、子どもの容態が悪化する場合や、良くならないようであれば、医療機関を受診する(これは治療のためではなく、全身状態を評価するためです)。  
湖北病院小児科は、正しい「風邪」の診療と、薬の適正使用に取り組んでいます。お困りの際は、ぜひご相談ください。

問 長浜市立湖北病院 (082-33315) (代表)

## ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとくあり輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介していきます。

### 県指定史跡 松尾宮山古墳群(高月町松尾) 指定日：平成11年3月31日指定



▲石室内の刳拔式家形石棺(1号墳)

松尾宮山古墳群は、2基の古墳(1号墳・2号墳)が滋賀県の史跡に指定されており、松尾集落背後の丘陵の山裾に分布する古墳時代終わり頃の古墳です。松尾宮山古墳群のうち、1号墳は7世紀初めに築かれた古墳で、使用された時期は7世紀初めから8世紀の間と考えられています。その大きさは、東西17m×南北13mで、上から見ると四角形をした方墳です。土を盛り上げて造成した古墳の裾には、外護列石と呼ばれる石を周囲に巡らせ、墳丘は2段で造られています。

古代に多く造られた古墳に埋葬された人物(以下、被葬者)は、石室の中に設けられた石棺や木棺などに安置されます。石を積み上げて築かれる石室は、大きく堅穴式石室と横穴式石室に分けられ、横穴式石室は堅穴式石室より、築造年代が新しいと考えられています。1号墳は、南方向に開口する横穴式石室です。

その横穴式石室内には、被葬者を安置する石棺(身部の規模…約1.7m×0.8m)が置かれています。この石棺は、石の塊を削り抜いて、箱形の空間を造り、蓋は家の屋根の形を模した刳拔式家形石棺と呼ばれる形態をしています。石材は、兵庫県の加古川流域で産出する竜山石を用いており、当時の流通範囲の広さや重量物を移動させる技術の高さに驚かされます。



▲石室の保護のための覆屋

石室の床面には敷石が施され、鉄釘が出土しています。このことから、埋葬施設には石棺以外にも現在では腐って形はありませんが、鉄釘を使用した木棺が存在したと考えられています。また、横穴式石室は、堅穴式石室とは違い追加で埋葬できる構造で、1号墳では石棺で1回、木棺で2回の埋葬行為が行われたと想定されています。付近には、現在は土で埋まっていますが、2号墳も存在します。2号墳は6世紀後半に築造された直径15mの円墳で、横穴式石室内に奈良県の二上山産の石を用いた組合式箱式石棺(板状に加工した石を箱形に組み合わせた石棺。身部の規模…約1.7m×0.9m)が収められ、明治15年に鉄刀や金環(金のイヤリング)が出土しています。市内に分布する古墳の数は600基以上あると考えられています。しかし、石室が見られる古墳は限られていますので、天気の良い日に訪れて、当時の王の姿に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。なお、古墳周辺は急な斜面となつていしますので、足元に注意してください。

問 歴史遺産課 (065-65510)